

令和8年度 第1回学校運営協議会

1 日 時 令和8年5月13日(水) 午後3時から4時まで

2 場 所 静岡県立掛川西高等学校 大会議室

3 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会委員委嘱
- (3) 学校運営協議会委員自己紹介、会長・副会長の互選
- (4) 学校職員自己紹介
- (5) 学校の概要説明
- (6) 議事
 - ・令和8年度学校経営計画について
- (7) 学校の近況報告(生徒課、進路課)
- (8) その他

4 出席者

学校運営協議会委員(敬称略)

井上 美千子	しずおか共有ネット 代表理事	6年目
瀬島 義孝	静岡新聞社掛川支局 支局長	2年目
富田 寿人	静岡理工科大学 副学長	1年目
荒木 良和	掛川市役所企画政策部 企画政策課長	1年目
長濱 裕作	掛川西高PTA 会長(次期)	1年目

※ 年数は、学校評議員の年数も含む

本校職員

大石 正佳(数)	校長
吉野 友三(保体)	教頭
小嶋 唯起子	事務長
松浦 弘季(数)	生徒課長
大村 生実(国)	進路課長

5 欠席者(敬称略)

大村 正己	掛川市立北中学校 校長	1年目
-------	-------------	-----

※ 年数は、学校評議員の年数も含む

令和8年度第1回学校運営協議会・議事録

井上：校長から、今年度の学校経営計画の説明をする。

校長：学校経営計画を説明。

井上：学校経営計画について質問はあるか。

富田：大学でも「3つのポリシー」の達成度を検証することが求められているが、高校での「評価」はどのように考えているか。

校長：年に2回実施する生徒アンケートで達成度の検証をしている。昨年度、生徒アンケートの項目を整理し、どの項目がどのポリシーに対応するかを紐付けた。今年度、初めてその形での検証を行う。

瀬島：先生方の帰宅時間の管理はどのようにしているか。

校長：PCの起動とシャットダウンの時間を記録するシステムで管理している。その後の変更があった場合には、終了の時間を訂正して、正しい勤務時間を記録している。

遅くとも20時までに帰宅というのは県の目標値だが、部活動が19時過ぎまであり、そこから事務作業をするとどうしても遅くなってしまう。

教頭：仕事内容が変わらないのに「早く帰れ」というのは無理があると感じている。先生方は真面目なので「生徒のため」と補習や部活を頑張っているが、業務改善とセットでなければ早く帰ることはできない。

長濱：進路について、生徒が大学進学以外の「起業」や「留学」などを希望した際は、どのように指導しているか。

大村：昨年度はプロ野球（ドラフト）、留学、公務員が各1名であった。就職については、担任及び進路課職員が対応し、野球は、部活動顧問が対応した。留学は業者を通じて各自が対応している。

校長：本校は希望者がいないが、起業については、県も「アントレプレナーシップ教育」の施策を打ち始めており、刺激を受ける機会は作っている。

荒木：奨学金で進学する生徒はどのくらいいるのか。

大村：奨学金については、本年度は3年生が324名いるが、そのうち200名が奨学金の説明会に参加している。何名申し込むかは、まだ把握できてない状況である。

以上